

海老名市の結果概要

平成30年度
全国学力・学習状況調査

教科に関する調査の結果

*平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

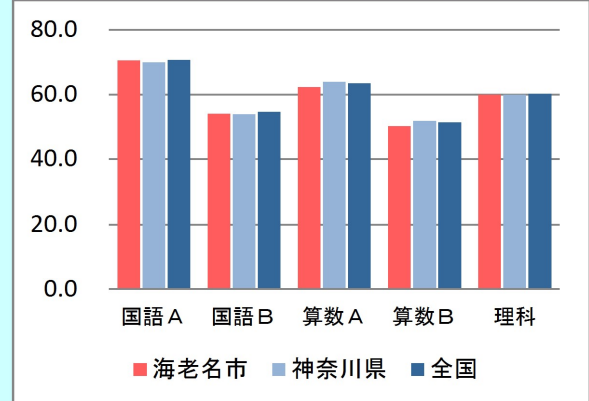
小学校

全国と比べてやや下回っています

平均正答率(%)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
海老名市	70.6	54.2	62.4	50.3	60.0
神奈川県	70.0	54.0	64.0	52.0	60.0
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

平均正答率のグラフ(%)



- ★国語・算数ともに昨年度と比べて全国との差は小さくなっています。
- ★国語・理科は、平均正答率が全国と同程度です。



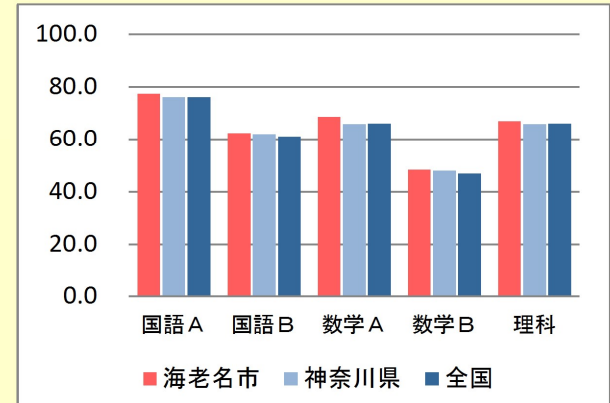
中学校

全国と比べて上回っています

平均正答率(%)

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
海老名市	77.4	62.4	68.6	48.4	66.9
神奈川県	76.0	62.0	66.0	48.0	66.0
全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

平均正答率のグラフ(%)



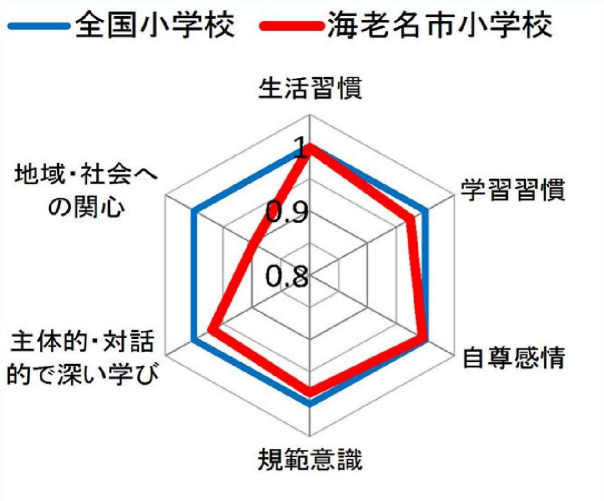
- ★全ての教科で全国を上回っています。
- ★平均正答率は、昨年度よりも全国をさらに上回っています。



児童生徒に対する質問紙調査の結果

小学校

生活習慣は良好です



児童質問紙より（全国平均を「1」としたときの比較）

○生活習慣は概ね定着しており、規則正しい生活を送ることができています。

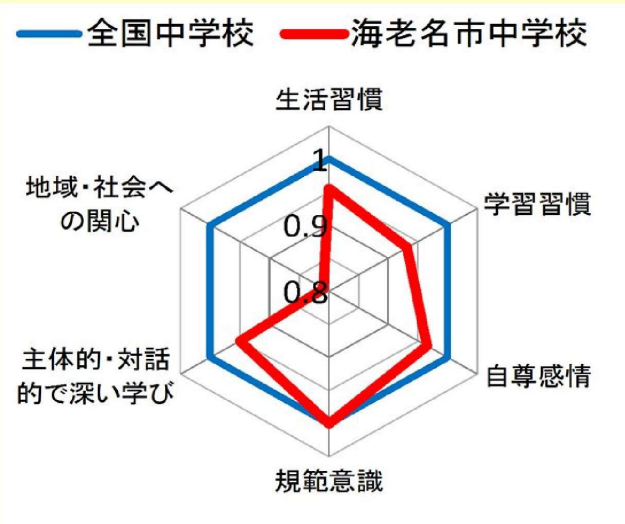
○話し合いでの学習活動が増え、主体的・対話的に学ぶための授業改善に取り組んできた成果が表れています。

○地域・社会への関心、行事参加等については課題があり、学校と家庭・地域の相互連携の必要があります。



中学校

規範意識は良好です



生徒質問紙より（全国平均を「1」としたときの比較）

○学習習慣・生活習慣に課題が見られ、取組に工夫が必要です。

○学校のきまりを守ることができています。

○小中一貫教育やコミュニティ・スクールなどの取組に関連させ、学校・家庭・地域が連携し、積極的に地域の行事等の周知や参加をすすめていく必要があります。

